



2022年7月8日

各 位

会 社 名 株式会社カーブスホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 増本 岳
 (コード：7085、東証プライム市場)
 問合せ先 取締役管理本部長 松田 信也
 (TEL. 03-5418-9922)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社が、2021年10月8日に公表いたしました2022年8月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2022年8月期通期連結業績予想の修正について (2021年9月1日～2022年8月31日)

(単位：百万円・%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	26,550	2,500	2,450	1,598	17円03銭
今 回 修 正 予 想 (B)	27,300	2,700	3,230	2,150	23円15銭
増 減 額 (B - A)	750	200	780	552	
増 減 率 (%)	2.8	8.0	31.8	34.5	
(ご参考) 前期実績 (2021年8月期)	24,681	1,622	1,716	1,129	12円04銭

(修正の理由)

当第3四半期連結会計期間(2022年3月～2022年5月)の業績状況は下記の通りです。

事業回復の最重要指標である会員数は、第2四半期連結会計期間末71.8万人から1.8万人純増し、73.7万人(オンライン会員を含む)となりました。また、会員向け物販は、第2四半期連結会計期間におけるプロテインの定期契約者数増加及び高機能新商品による客単価向上などにより、当第3四半期連結会計期間も引き続き好調に推移し予想を上回る結果となっております。

これらにより、売上高の増加に伴う売上総利益の増加が寄与し、営業利益は当初予想を上回りました。

また、経常利益及び四半期純利益は、営業利益の増加に加え、為替変動によりCurves International, Inc.においてキャッシュの増減には影響しない為替差益の発生により増加いたしました。

一方で、新規入会において3月下旬までオミクロン株の感染拡大やまん延防止等重点措置などによって社会活動が停滞した影響を受け、とくにシニア層(65歳以上)の新規入会が低調となり、当第3四半期連結会計期間末の会員数は当初想定を下回っております。

これらの実績及び今後の経営環境と施策を踏まえ、通期業績予想を修正いたします。

詳細は以下の通りです。

当社グループは2022年末（2022年12月末）までの事業回復と新しい経営環境下でのビジネスモデル確立を目指しており、2022年8月期（2021年9月1日～2022年8月31日）は、これを確実なものとする年度と位置付け戦略を遂行しています。

早期の事業回復と新しい経営環境下でのビジネスモデル確立を実現するには、

- ①顧客満足度の一層の向上、フランチャイズ加盟店経営の安定化などの事業基盤を守り育てること
- ②マーケティングを強化し、積極的な費用投下をし、会員数の回復をまず図ること
- ③オンライン体操教室「おうちでカーブス」など新たなビジネスモデルを早期に軌道に乗せることが引き続き重要課題であると認識しており、第4四半期連結会計期間においても引き続きマーケティングの強化等の戦略投資を積極的に実施していく計画です。

（国内事業）

- ・会員数増、会員向け物販好調によって売上高、営業利益は前回発表を上回る予想です。
- ・2022年8月期通期では、新規出店を15店舗、コロナショックの影響が大きいフランチャイズ店の閉店統合を26店舗予定しており、店舗数は11店舗純減の期末1,947店舗との予想に修正しております。

店舗業績の回復によりフランチャイズ加盟企業の出店意欲は高まっており商業施設などからの出店要請も増加しているものの施工資材の調達不足等による施工の遅れによって、第3四半期および第4四半期に予定していた新規出店が来期以降に持ち越しとなっております。一方で、店舗業績の回復により閉店・統合数も減少する見込みです。

- ・会員数は、当第3四半期連結会計期間においても着実に純増をしているものの、2022年8月期末会員数予想79.8万人（オンライン会員含む）（2021年10月8日公表）の計画に対しては、進捗が遅れております。そのため、2022年8月期末の会員数を76万人（オンライン会員含む）との予想に修正しております。
- ・会員向け物販売上高は当初予想を上回る推移が予想されるものの、主力商品であるプロテインの原材料価格などの上昇による原価の増加を見込んでおります。
- ・2022年末までの事業回復と新しい経営環境下でのビジネスモデル確立を実現するためには、会員数の早期回復が優先課題となります。そのため、マーケティングの積極展開による広告宣伝費の追加投下を行う計画です。

（海外事業）

- ・重点地域である欧州（イギリス、イタリア、スペインなど）においては、営業再開によって会員数も回復に向かっていきます。事業の成長に向けて、オンラインフィットネスの提供など新しいビジネスモデルの実験を積み重ね、変化する経営環境に適応した戦略の立案と実行をしていきます。当面は成長に向けての準備期間と位置付け、通期で営業赤字が続く見通しとしております。

（営業外損益）

- ・為替変動によりCurves International, Inc.においてキャッシュの増減には影響しない為替差益の発生による営業外収益の増加を見込んでおります。

以上により、2022年8月期の通期業績予想を修正いたしました。

なお、2022年8月期期末配当は、公表している配当予想からの修正はございません。

将来の事業展開と財務体質の健全化のために必要な内部留保を確保しつつ、連結配当性向50%を目指し、引き続き事業回復を最優先に取り組んでまいります。

- （※）資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上